

# 自分との関わりで考えさせる学習



自分との関わりで考えるって  
どういうこと？

児童生徒がねらいとする道徳的価値について、**自分  
の問題として受け止め、自分の事として考える  
ことです。**



## □自分との関わりで考えさせる学習の例

中学校 明かりの下の燭台（講談社 なせば成る！）「C-(15) 集団生活の充実」

導入	T	集団生活を充実させるために大切なことは何ですか。	日常生活や共通体験の想起 自分との関わりで問題意識を持たせます。 →導入の工夫へ
	S	・・・	
	T	<u>体育祭や新人戦の時を思い出して考えてみましょう。</u>	
	S	ルールを守る。	
	S	自分勝手に行動しない。	
展開	T	<u>マネージャーを頼まれたら、どのような気持ちになりますか。</u>	自分だったら… 登場人物の立たされた状況に共感させ、これまでの自分の体験から感じたり、考えたりしたことを基に考えさせます。
	S	選手として認めてもらえなくて悔しい。	
	S	選手としてプレーしたい。	
	T	<u>Aさんは、野球をしているけれど、全員が選手だったらチームは成り立つかな。</u>	意図的指名 児童生徒の実態把握から意図的指名をします。
	S	・・・(考え込む)	
	S	誰かが引き受けないと、困る。	
	T	<u>みなさんは、自分だったらマネージャーを引き受けますか。</u>	建前から自分事へ 自分の事として考えないと、建前で答えてしまうことが考えられます。自分の事として考えられるように発問の工夫をします。 →発問づくりへ
	S	選手になりたいから引き受けない。	
	S	わたしは、引き受けます。誰かがやらないといけないと思うので。	
	T	<u>集団のために、選手になりたいという気持ちは我慢しないといけないのかな。</u>	
	S	・・・(考え込む)	

学習の中で児童生徒の以下のような様子が見られるといいですね。

- 教材の登場人物を自分に置き換えて考えているか。
- 教材の問題点を自分のこととして受け止めて考えているか。
- 日常生活や学校生活等を想起しながら考えているか。
- 自分の生活を見つめ、振り返りながら考えているか。
- 自分だったらどうするかなど考えているか。



### 参考文献

- [1] 赤堀博行：「特別の教科 道徳」で大切なこと P158-172 東洋館出版社  
 [2] 浅見哲也：宮城県総合教育センター 道徳教育研修会資料